#### 口頭発表者各位

現時点では、第69回有機金属化学討論会は対面にて開催する予定ですが、新型コロナの 蔓延状況等により、オンライン中心に切り替わる場合があります。

#### 1. 予稿原稿執筆に関して

#### ホームページより予稿原稿のファイルを送信してください。

別紙「有機金属化学討論会予稿原稿執筆に関するお願い」をご覧の上、作成ください。作成した予稿原稿(1 枚)を PDF 形式に変換し、6月13日(火)~7月6日(木)(必着)の期間中に、Webページ( <a href="https://kinka.or.jp/om/discussions/r\_69.html#abstract">https://kinka.or.jp/om/discussions/r\_69.html#abstract</a>)からお送りください。

### 2. 参加登録について

発表される方は必ず参加登録を行ってください。

予約参加登録	有機金属部会会員	10,000円
(8月3日(木)まで)		
	共催・協賛団体会員	15,000円
	会員外	20,000円
	学生	6,000円
当日申込	有機金属部会会員	13,000円
(8月4日(金)以降)	共催・協賛団体会員	18,000円
	会員外	23,000円
	学生	9,000円

参加登録は、有機金属化学討論会のホームページ

( <a href="https://kinka.or.jp/om/discussions/s">https://kinka.or.jp/om/discussions/s</a> 69.html ) に掲載の方法により行ってください。Peatixを利用しての申し込みとなります。

- ※予約参加登録については8月3日(木)までにお申し込み、参加費のお支払いもお済ませください。
- ※購入時期,参加形態,種別によりチケットが異なります。お間違えのないようにご購入ください。
- ※8月4日(金)以降の参加費は各3,000円増となります。
- ※チケットを購入せず会場にお越しいただいた場合、ご参加できません。

#### 3. 懇親会について

9月14日(木)討論会終了後、学内にて開催予定です。開催が確定しましたら申し込み方法をホームページに掲載いたします。(参加登録とは別に受け付けを行う予定です。)

#### 4. 講演に関して(対面にて実施の場合)

- (1) 発表時間は14分、質疑応答時間は5分を予定しています。発表開始後11分で1 鈴、14分で2鈴(発表終了)、19分で3鈴(討論終了)を鳴らします。
- (2) 発表者は、こちらで準備した PC (Windows) に発表データをあらかじめ保存していた

だき、発表していただきます。午前の発表については開始前もしくは発表セッション 以前の休憩時間中、午後の発表については昼休み中もしくはご自分の発表セッション 以前の休憩時間中に、発表データを保存した USB を持参し、発表者 PC 受付場所まで お越しください。

(3) 発表資料の作成は、PC の都合上、パワーポイントで作成ください (ppt または pptx ファイル)。また、発表会場のスクリーンが 16:9 ワイド型ですので、スライドサイズ は 16:9 を強く推奨いたします (4:3 スライドの場合、左右に黒みが出てしまいます)。

問合先アドレス(近畿化学協会有機金属部会): om@kinka.or.jp

# 有機金属化学討論会予稿原稿執筆に関するお願い

予稿原稿作成者(発表者)は、予稿原稿執筆時、予稿原稿執筆要領に沿って作成していること

に	ご確認ください。特に,これまでに多く見られた〔要領通りに作成されていない項目〕を下記 列記しています。予稿原稿をアップロードする前に,ダブルチェックを行ってください。 また,予稿原稿をアップロードする際には, <b>発表責任者が予稿原稿執筆要領に沿って作成され</b> いるか,本チェックシートに記載してある内容について問題ないか,必ずご確認ください。
1)	予稿集に記載の <b>著者リストのフルネーム</b> ,順番,所属は,発表申し込み時の内容と一致している。 確認した □
2)	予稿集に記載の著者全員のフルネームは, Given name (Middle name) Family name の順になっている。 <b>確認した</b> □
3)	発表題目は、Chemistry Letters <b>誌の書式</b> に沿って、 <b>主要単語を「大文字」で始める</b> 形式で記述している。 <b>確認した</b> □
4)	発表者の名前には <b>下線</b> を引いている。 <b>確認した</b> ロ
5)	著者が <b>3名以上の場合は</b> , Oxford コンマ(Author A, Author B, and Author C)を入れている。 <b>確認した</b> □
6)	著者の所属が日本国内の場合は、住所の最後に Japan は入れていない。 確認した □
7)	MS Word で作成したファイルと PDF 変換する際, フォント情報も埋め込んでいる。(MS Word の PDF 形式での保存, または Adobe Acrobat での PDF 変換を行った場合には, 通常ファント情報は埋め込まれた状態になります) 確認した □
8)	別添の執筆要領に記載の内容に沿って予稿原稿を作成した。 確認した □
9)	上記 1)-8)の内容について <b>発表責任者による確認を行った</b> 。 確認した □

## 予稿原稿執筆要領

#### 書式の詳細とお願い

- ・原稿作成の際は、必ず、テンプレートに埋込まれた「スタイル (Word Style)」を用いて書 式を統一してください。
- タイトル(Title),著者名(Author1, Author2, and Author C),所属(Affiliation),本文(Text\_body)の書式は変更しないでください。
- ・タイトル (Title): Chemistry Letters 誌の書式に沿って、主要単語を「大文字」で始める形式で記述してください。
- 著者名のうち、発表者の名前のみに下線を引いてください。
- ・所属(Affiliation)の箇所は、日本国内の場合、住所の最後に Japan は記載しないでください。
- ・図表:行間を多少狭くしてもかいませんが (e.g.,  $10 \, \text{pt} \to 9 \, \text{pt}$ ), フォントサイズは変更しないでください。図の Image と Figure Caption や Scheme Heading との間隔, 図表と本文との間隔は, 適宜調整して頂いて構いません。
- ・ 文献: 行間を多少狭くしてもかいませんが (e.g.,  $10 \, \mathrm{pt} \to 9 \, \mathrm{pt}$ ), フォントサイズは変更しないでください。
- ・ 文献の書式:最新の Chemistry Letters 書式 (テンプレートに例示)を標準としますが,原稿内で統一されていれば他の書式でお書き頂いても構いません。
- Reference Heading: 文献のみの場合は"**References**", Note が含まれている場合は"**References** and Notes"としてください。

#### 【用紙】A4

[Margin] Left 18 mm, Right 18 mm, Top 27 mm, Bottom 25 mm

【題目・著者・所属】(1段組)

- Title: Times New Roman, 14 pt, bold; 行間 固定值 18 pt
- ・Authors: Times New Roman, 10 pt;行間 固定値 14 pt;最初の行 段落前 6 pt
- ・Affiliation: Times New Roman, 10 pt, italic; 行間 固定値 10 pt 必ず,空白行(Word Style "blank", 行間 1 行)を残して,本文に進んでください。

【本文】(2段組, 段組み間隔7mm, 左右インデント0mm)

- ・Main Text: Times New Roman, 9 pt;行間 固定値 11 pt;最初の行 字下げ 5 mm
- ・Figure Caption と Table Title: Times New Roman, 9 pt; 行間 固定値 10 pt
- ・References and Notes: Times New Roman, 9 pt;行間 固定値 10 pt;最初の行 ぶら下げ 3 mm

## PDF 形式に変換する際のフォント埋め込み方法

### (Word2010 の場合)

- ・ Word → 「ファイル」「保存と送信」で "PDF/XPS ドキュメントの作成" を選択。
- · 右側の「PDF/XPS の作成」 をクリック。
- ・ 最適化は「標準」を選択。「オプション」をクリック。
- · 「PDF のオプション」の ISO19005-1 に準拠 (PDF/A)にチェックを入れて「発行」。

#### (その他ソフトの場合)

- · 「印刷」で "Adobe PDF" を選択。
- 選択画面の横の「プロパティ」をクリック。
- ・ 「プロパティ > Adobe PDF 設定」画面の「PDF 設定」プルダウンメニューから「プレス品質」を選択し、PDF を作成。

## 埋め込みの確認方法

作成した PDF を開いて、

メニュー:ファイル > プロパティ > フォント

の画面にて、すべてのフォントに (埋め込みサブセット) が入っていればフォントが埋め込まれています。

#### 埋め込みの必要性

・すべてのフォントが埋め込まれていない PDF の場合,文書中で使用したフォントが存在しない PC環境でそのファイルを読み込むと,不整表示あるいは誤表示が生じる場合があります。 そのため,全フォントの埋め込みをお願いしております。

# 第69回有機金属化学討論会のご案内

主催 近畿化学協会有機金属部会

共催 近畿化学協会 日本化学会 日本薬学会、

協賛 有機合成化学協会

会期	2023年9月13日(水) ~ 15日(金)		
ポスター発表 2002年0月12日(水)		対面 (予定)	
開催形式	口頭発表 2023年9月14日(木) ~ 15日(		
口頭発表会場	7 (7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7		
	(大阪府吹田市山田丘1-1)		
討論主題	有機金属化合物の合成・反応・構造・機能、有機金属化合物を用いた有機合成		
重要な日程	発表申込締切		
	発表番号通知	6月中旬	
	予稿原稿受付期間	6月中旬~7月6日(木)必着	
	ポスター発表者/ショートトークの諾否返答締切 7月6日(木) ショートトーク発表番号 HP掲載 8月上旬		
プログラム HP掲載		8月上旬	
	参加登録予約申込締切	8月3日(木)	
	予稿集発行日	8月25日(金)	
	ショートトーク ファイル送信受付期間	8月7日(月)~8月31日(木)	
発表形式	※第67回討論会から1研究室あたりの発表件数は4件以内になっています。		
7-4-4/10	ポスター発表、または口頭発表 (1) すべての発表申込はまずポスター発表として受け付け、その中から口頭 発表を実行委員会より依頼致します。 (2) 口頭発表は1件20分(発表14分、質疑応答5分、交代1分)。ポスター発表		
	については、ショートトーク〔1件1分10秒(発表1分、交代10秒)、パワ		
	ーポイント形式でA4サイズ2枚以内、ファイルはPDF形式に変換の上、事		
	前に提出〕を依頼致します。		
	(3) 申し込みは1研究室につき4件以内で、共同研究もこれに含まれることが		
	望ましい。また、発表は1名1件に限ります。		
	(4) 研究発表はポスター、口頭発表とも十分に討論を行うために上級研究者		
	が望ましい(学生の口頭発表の場合は原則D2以上)。		
3% ++ ++ >1 ++ >1+	(5) プログラム編成は、討論会実行委員会にご一任ください。		
発表申込方法	有機金属化学討論会のホームページ(https://kinka.or.jp/om/details.html)		
	に掲載の方法に従って、上記締切日までに申し込み下さい。申込終了後、確		
	認のメールが届きます。24時間以内に確認のメールが届かないときには		
予稿原稿	om69@felish.jp にお問合せください。   A ま中は チェンス タミュ 味 なお 知 こみ し		
1′1向/尔伯	発表申込者には発表日時をお知らせし、原稿執筆要領をお送りします。 (1) 有機金属化学討論会のホームページよりフォーマットをダウンロードの		
	(1) 有機金属化学討論会のホームペーンよりフォーマットをタワンロードの 上、作成してください。 (2) 予稿原稿の枚数は、ポスター発表、口頭発表とも1枚(図表を含む)。		
	(3) 有機金属化学討論会のホームページより、注意事項に従って、上記締切		
	日までにファイル送信作業を行ってください。		
ショートトークファイル	ショートトークを行う方は、有機金属化学討論会のホームページより、注意		
提出方法	事項に従って、上記受付期間中にファイル送付		
懇親会	9月14日(木) 討論会終了後に学内にて開催予		
	開催が確定しましたらHPにてご案内します。(参加登録とは別に受付を行		
	う予定です。)		
参加登録費	(予稿集代・消費税を含む)		
(予約参加)	予約参加登録(8月3日(木)まで) 有機金属音		
	団体会員15,000円 会員外 20,000円 学生 6,000円 当日参加登録(8月4日(金)以降) 各3,000円増		
参加申込方法 有機金属化学討論会のホームページに掲載の方法でお申し込みくだ			
NI-16-2	(6月上旬より申し込みを開始する予定です。)		
連絡先			
	Tel: 06-6441-5531 Fax: 06-6443-6685 E-mail <u>om@kinka.or.jp</u>		

## 【新型コロナウイルス感染症への予防対策について】

会場 (大阪大学) での運営に際しては、大阪府、大阪大学等が定める新型コロナウイルス感染拡大防止対策に準拠 し、運営を行います。

また、マスクの着用は個人の判断に委ねることが基本とされていますが、会場の入退時、ポスター発表中等、主催者側よりマスクの着用をお願いすることがございます。その際にはご協力の程よろしくお願い申し上げます。

## 第69回有機金属化学討論会 タイムスケジュール

※「O」から始まる番号は口頭発表です。 1件20分(発表14分、質疑応答5分、交代1分) ※「P」から始まる番号はポスター発表です。ショートトークは1件1分10秒(発表1分、交代10秒)

